

2022 年度 通常総会議事録

表記の総会が、2022 年 5 月 12 日（木）17 時 40 分より東京都葛飾区東京理科大学葛飾キャンパス図書館大ホールとオンライン（Zoom）のハイブリッドにて、富澤会長を議長として開催された。出席者 43 名（内訳：現地 25 名、オンライン 18 名）に委任状により表決権を委任した者 118 名（議長委任 118 名）を加え出席者は 161 名であることから、出席者が 3 月 31 日の正会員数 422 名の 10 分の 1 以上となり、会則第 15 条により総会は成立した。以下の事項が報告・承認された。

I. 応用統計学会 2021 年度 事業報告（2021. 04. 01～2022. 03. 31）

1. 概況

2021 年度は、富澤貞男 会長・松浦正明 副会長と 13 名の理事、および中西寛子、永田靖の両監事の体制で活動した。

財務状況は機関誌発行の遅れに伴い予定より少ない赤字であった。

2021 年度中の会員の入会、退会状況は、入会者数 21 名（内訳：正会員 10 名、学生会員 10 名、賛助会員 1 社）、退会者数 31 名（内訳：正会員 27 名（物故者 1 名含）、学生会員 3 名、賛助会員 1 団体）であった。また、学生会員から正会員への変更は 3 名、正会員から名誉会員への変更は 3 名、除籍者 5 名（内訳：正会員 5 名）であった。

この結果、会員数は 2021 年度末現在で 422 名である。内訳は正会員 400 名、学生会員 12 名、名誉会員 10 名である。また、賛助会員 6 社、機関・団体購読は 29 件である。

正会員、学生会員と名誉会員を足した会員数の推移は次のとおりであり、会員増への方策の検討が必要である。

	2015 年度末	2016 年度末	2017 年度末	2018 年度末	2019 年度末	2020 年度末	2021 年度末
会員数	521 名	499 名	451 名	426 名	432 名	437 名	422 名

2. 総会の開催

2021 年 5 月 15 日（土）17 時 40 分よりオンライン（Zoom）にて、富澤会長を議長として開催された。出席者 46 名に委任状により表決権を委任した者 45 名（議長委任 45 名）を加え出席者は 91 名であることから、出席者が 3 月 31 日の正会員数 437 名の 10 分の 1 以上となり、会則第 15 条により総会は成立した。

3. 評議員会

本年度の定例評議員会は、新型コロナウイルス感染症の影響により、オンライン会議（Zoom）によって 2021 年 5 月 6 日（木）に開催した。出席者 23 名に委任状により表決権を委任した者 6 名を加え出席者は 29 名となった。評議員現在数は 29 名であることから、出席者が過半数を超え、会則第 24 条により評議員会は成立した。椿広計氏を議長に選出し、総会に付議する事項等の審議と報告などが行われた。

4. 理事会

新型コロナウイルス感染症の影響により Zoom による理事会を 7 回（2021 年 4 月，6 月，8 月，10 月，12 月，2022 年 2 月，3 月）開催し，学会の運営に関する事項，会員の入退会に関する事項，学会などの後援や協賛に関する事項について審議した。

5. 機関誌編集

「応用統計学」Vol.50 の No.1 の 1 冊を発行した。掲載原稿は 4 編（原著論文 2，エッセイ 2）である。総ページ数の推移は次のとおりである。

巻	43	44	45	46	47	48	49	50	平均
総ページ数	57	187	122	176	128	104	162	52	123.5
論文数*	10	3	11	8	5	5	11	4	7.1

*掲載された記事の数（総合報告，研究論文，原著論文，覚え書き，事例研究，統計計算，フォーラム，研究ノート，エッセイ）

6. 応用統計学会論文賞の選考

「応用統計学」に掲載された論文から選考し，以下のように学会論文賞を 2021 年度年会の学会賞表彰式にて授与した（*が受賞対象者）。また，受賞記念講演を 9 月の連合大会で開催された企画セッション内で実施した。

優秀論文賞：松田孟留（東京大学）

競技かるたの決まり字に関する統計的解析, 49(1), 1-11.

奨励論文賞：*石井晶（東京理科大学），矢田和善（筑波大学），青嶋誠（筑波大学）

単一強スパイク固有値モデルにおける高次元平均ベクトルの 2 標本検定, 49(3), 109-125.

7. 年会

2021 年度年会を 2021 年 5 月 15 日にオンライン（Zoom）で開催した。

5 月 14 日に日本計量生物学会主催による「因果探索」をテーマとしたチュートリアルセミナーにおいて，清水昌平氏（滋賀大学データサイエンス学系，理化学研究所革新知能統合研究センター）「統計的因果探索の基礎」，前田高志ニコラス氏（理化学研究所革新知能統合研究センター）「未観測共通原因が存在するときの因果グラフ推定」，井元佑介氏（京都大学高等研究院）「LiNGAM モデルに基づく遺伝子制御ネットワーク推定」の 3 講演が行われた。参加者は延べ 321 名（日本計量生物学会：会員 169 名，非会員 29 名，学生 54 名，応用統計学会：会員 45 名，非会員 5 名，学生 19 名）であった。

年会では，一般講演 9 件，特別講演 2 件，学生セッション 8 件，ポスターセッション 8 件の発表が行われた。学生セッションの中から最優秀発表賞 1 名と優秀発表賞 2 名を選出し，ポスターセッションの中から優秀ポスター発表賞 2 名を選出した（*が受賞対象者）。

最優秀発表賞

*奥田忠久，吉川剛平，川野秀一（電気通信大学）

スパース部分的最小二乗回帰に基づく因果媒介分析

優秀発表賞

*清水康希，橋口博樹（東京理科大学）

特異・非特異のウィシャート行列に関する最大固有値分布の統一的表現

*原田魁成，寒河江雅彦，山口裕通（金沢大学）

非負値行列因子分解を用いた COVID-19 流行前後における石川県内滞在者の生活行動変容分析

優秀ポスター発表賞

*中川智之（東京理科大学），渡邊弘己（大分県立看護科学大学），兵頭昌（神奈川大学）
ユークリッド距離に基づく判別分析の変数選択について

*石原拓磨（岐阜大学），山本紘司（横浜市立大学）

複数の二値および連続変数を主要評価項目とする臨床試験における検定手法

参加者は延べ 115 名（会員 64 名，非会員 14 名，学生 36 名，日本計量生物学会員 1 名）であった。

参加者数の推移は次のとおりである。

	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年	2020 年	2021 年
参加者数	106 名	64 名	71 名	55 名	43 名	66 名	中止	115 名

8. フロンティアセミナーの開催

応用統計学会は、2022 年で 40 周年を迎え、これを記念して応用統計学フロンティアセミナー「応用統計学の過去，現在そして未来へ」を主催：応用統計学会，共催：統計数理研究所，後援：一般財団法人 日本統計協会，統計関連学会連合，一般社団法人 日本品質管理学会で 2022 年 1 月 29 日（土）にオンライン（Zoom）開催した。参加者数は 163 名（会員 60 名，非会員 76 名，学生 27 名）であった。講演は以下のとおりである。

永田 靖 氏（早稲田大学）

「多重比較法の基礎」

樋口 知之 氏（中央大学）

「帰納と演繹の融合：データ同化と深層学習」

岩崎 学 氏（統計数理研究所）

「今こそ考える「因果」と「相関」

椿 広計 氏（統計数理研究所）

「統計エキスパート育成事業開始に当たって～アメリカの統計家とデータサイエンティスト育成から学ぶべきこと～」

9. 統計関連学会連合大会

統計関連学会連合大会を 2021 年 9 月 5 日～9 日にオンライン開催した（主催：応用統計学会・日本計算機統計学会・日本計量生物学会・日本行動計量学会・日本統計学会・日本分類学会）。

参加者数は延べ 1,402 名（チュートリアル参加者数 384 名，市民講演会参加者数 207 名，本大会参加者数 811 名）であった。本学会の企画セッションとして，応用統計学会学会賞受賞者講演（オーガナイザー：姫野哲人（滋賀大），南美穂子（慶應義塾大））と，応用統計学会企画セッション「統計的因果効果推定の近年の進展：異質性を中心に」（オーガナイザー：星野崇宏（慶應義塾大・理化学研究所））を行った。

大会参加者総数とチュートリアルセミナー参加者の推移は次のとおりである。

年 度	2016	2017	2018	2019	2020	2021
大 会	835 名	836 名	1,275 名	1,114 名	1,448 名	1,402 名
チュートリアルセミナー	252 名	170 名	143 名	143 名	335 名	384 名

※ 2021 年の数字は統計関連学会連合のウェブページでの報告

10. 関連学会等との後援・協賛事業

合計6件（後援4件，協賛2件）

今年度に後援・協賛した行事は次のとおり。

- ・ IASC-ARS The 11th Conference of the IASC-ARS（後援）
- ・ 日本 TRIZ 協会 第17回日本 TRIZ シンポジウム 2021（協賛）
- ・ 慶應義塾大学 SFC 研究所 第13回データビジネス創造コンテスト（後援）
- ・ 電子情報通信学会 第24回情報論的学習理論ワークショップ（IBIS2021）（協賛）
- ・ 慶應義塾大学 SFC 研究所 第14回データビジネス創造コンテスト（後援）
- ・ 横浜市立大学 第4回 WiDS Tokyo@Yokohama City University（後援）

11. 関連学会等への協力と協調

以下の各連合組織に当学会より担当する理事又は特別任務を担当する学会員を指名し，各委員会に出席するなど協調を行った。

(1) 統計関連学会連合

理事会（理事：富澤貞男 会長，松浦正明 副会長）

事業委員会（中西寛子 監事，青木敏 会員，生亀清貴 理事，藤井良宜 会員）

(2) 統計関連学会連合大会

2021 年度大会

組織委員会（富澤貞男 会長，松浦正明 副会長）

プログラム委員会（前園宜彦 理事，山本紘司 理事），運営委員会（中川智之 会員）

(3) 一般社団法人 日本計量生物学会

2021 年度日本計量生物学会年会を後援，チュートリアルセミナーを共同主催

(4) 横断型基幹科学技術研究団体連合

2021 年度 代議員（松浦正明 副会長）

(5) 統計教育連携ネットワーク

連携学会として参加

(6) リスク研究ネットワーク

機関メンバーとして参加

(7) 統計検定（一般財団法人 統計質保証推進協会）

協賛学会として協力

(8) 一般社団法人 データサイエンティスト協会

特別会員として協力

12. ホームページおよびメーリングリストの充実

ホームページをリニューアル及び逐次更新し，学会員への情報公開を円滑にした。また，メーリングリストによる情報公開を行った。

13. 情報誌

学会員の情報交換や意見交換になる情報誌「応用統計学会 information」の No.2 と No.3 を学会ホームページ上に掲載した。

14. 名誉会員

2021 年度の名誉会員については，公募の結果，清水邦夫氏が名誉会員となった。2022 年度の名誉会員についても，2021 年度中に公募を行った。

15. 会費滞納者への対応

長期会費未納者に対して，除籍処分を行った．

その他の事業については応用統計学会のホームページをご覧ください．

Ⅱ. 2021年度会計報告

1. 収入の部

勘定科目	決算額	予算額	差額
1. 会費収入	2,207,500	2,102,500	105,000
(1) 正会員	2,025,000	1,960,000	65,000
(2) 名誉会員	15,000	5,000	10,000
(3) 学生会員	47,500	17,500	30,000
(4) 賛助会員	120,000	120,000	0
2. 雑誌売上収入	208,000	180,000	28,000
(1) 購読料収入	208,000	180,000	28,000
(2) バックナンバー売上	0	0	0
3. 広告料	60,000	90,000	▲ 30,000
4. 掲載料・別刷り・カラー印刷収入	0	227,000	▲ 227,000
5. 年会等関係収入	956,643	670,000	286,643
(1) 年会収入	336,700	270,000	66,700
(2) チュートリアル収入	170,943	100,000	70,943
(3) フロントアセミナー収入	449,000	300,000	149,000
6. 雑収入(著作権料・利息等)	102,066	72,000	30,066
当期収入合計	3,534,209	3,341,500	192,709
前期繰越金	7,163,783	7,163,783	0
収入合計	10,697,992	10,505,283	192,709

2. 支出の部

勘定科目	決算額	予算額	差額
1. 機関誌関係費	922,093	1,607,000	▲ 684,907
(1) 印刷費	671,000	1,200,000	▲ 529,000
(2) 校正費	159,600	180,000	▲ 20,400
(3) 通信・発送費	91,493	227,000	▲ 135,507
2. 年会等関係費	832,400	530,000	302,400
(1) 年会支出	465,197	280,000	185,197
(2) チュートリアル支出	21,288	0	21,288
(3) フロンティアセミナー支出	345,915	250,000	95,915
(4) 共催国際会議支出	0	0	0
(5) 広報費	0	0	0
3. 管理費	1,210,261	1,140,000	70,261
(1) 事務委託費	750,000	750,000	0
(2) 消耗品費	66,515	110,000	▲ 43,485
(3) 会議費	0	40,000	▲ 40,000
(4) 雑費	181,204	80,000	101,204
(5) 事務合理化費	20,900	10,000	10,900
(6) 選挙費	191,642	150,000	41,642
4. 役員旅費補助	1,180	50,000	▲ 48,820
5. 関連学会協調事業費	70,000	120,000	▲ 50,000
(1) 関連学会年会費	20,000	20,000	0
(2) 横幹連合年会費	50,000	50,000	0
(3) 連合大会企画セッション支出	0	50,000	▲ 50,000
6. 学会賞	85,959	50,000	35,959
7. 謝金	40,000	0	40,000
8. 「学会ホームページ」改修費	990,000	1,000,000	▲ 10,000
当期支出合計	4,151,893	4,497,000	▲ 345,107
【参考】当期収支差額	▲ 617,684	▲ 1,155,500	537,816
次年度繰越金	6,546,099	6,008,283	537,816
支出合計	10,697,992	10,505,283	192,709

2022年度への繰越金の内訳

項目	2021年3月31日現在	2022年3月31日現在
銀行預金	752,623	2,005,327
郵便貯金	1,344,396	0 解約
郵便振替	5,066,764	4,540,772
現金	0	0
合計	7,163,783	6,546,099

会計監査報告書

応用統計学会殿

応用統計学会会則に基づき、2021年4月1日より2022年3月31日までの会計経理を監査した結果、会計報告のとおり相違ないことを認めます。

2022年4月14日

監事

永田 靖

中西寛子

Ⅲ. 応用統計学会 2022 年度 事業計画(2022.04.01～2023.03.31)

1. 機関誌の発行

「応用統計学」 Vol. 50, No. 2&3, Vol. 51 を発行する。

2. 応用統計学会論文賞等の授与

「応用統計学」に掲載された論文の中から優秀な論文に学会賞（優秀論文賞，奨励論文賞）を授与する。また年会の学生セッション（口頭発表）の中から最優秀発表賞と優秀発表賞，ポスターセッションの中から優秀ポスター発表賞を授与する。優秀論文賞と奨励論文賞の各受賞者は統計関連学会連合大会における企画セッションで講演を行う。

3. 年会の開催

2022 年 5 月 12 日に東京理科大学葛飾キャンパスとオンライン（Zoom）のハイブリッド開催の予定である（共催：東京理科大学）。また，13 日にはチュートリアルを開催予定である。なお，2023 年の開催場所は日本計量生物学会が担当する予定である。

4. 応用統計学フロンティアセミナーの開催

2022 年度のフロンティアセミナーに関するセミナーのテーマ，時期および開催場所については検討中である。

5. 統計関連学会連合大会での企画セッション

2022 年度統計関連学会連合大会（応用統計学会・日本計算機統計学会・日本計量生物学会・日本行動計量学会・日本統計学会・日本分類学会が主催）が 2022 年 9 月 4 日～8 日に成蹊大学で開催される予定である。企画セッションとして当学会は，

- 「カーネル型推定の最近の発展」（オーガナイザー：前園宜彦（中央大学））
- 応用統計学会学会賞受賞者講演（オーガナイザー：南美穂子（慶應義塾大学理工学部），姫野哲人（滋賀大学データサイエンス研究科））

を企画運営する。

6. 研究集会

必要に応じてその他の研究集会を開催・支援する。

7. 学会員への情報公開

ウェブページやメーリングリストを活用して，学会員への情報公開を有効かつ円滑に行う。情報誌「応用統計学会 information」を今後もホームページに掲載する予定である。

8. 広報活動

会員の募集のための広報活動を，連合大会（ブースの設置）や適切な媒体を使って行う。

9. 学会ホームページ

更なる機能向上を目指して，学会のホームページを更新する予定である。

10. 関係学会等との協調

以下の団体への加盟を継続し協力すると共に，その他関係学会との協調を促進する。

- (1) 統計関連学会連合
- (2) 日本計量生物学会
- (3) 横断型基幹科学技術研究団体連合（横幹連合）
- (4) 統計教育連携ネットワーク
- (5) リスク研究ネットワーク
- (6) 統計検定（一般財団法人 統計質保証推進協会）
- (7) データサイエンティスト協会

1 1. 名誉会員

名誉会員の公募と選考を行う。

1 2. 理事会, 評議員会, 総会の開催

評議員会は2022年5月9日にオンライン（Zoom）開催, 総会は2022年5月12日にハイブリッド（対面とオンライン（Zoom））開催する。

また対面, オンライン（Zoom）, メール等による理事会は必要に応じて開催する。

以上

IV. 2022年度予算案

1. 収入の部

勘定科目	2021年度予算	2021年度実績	2022年度予算
1. 会費収入	2,102,500	2,207,500	2,022,500
(1) 正会員	1,960,000	2,025,000	1,860,000
(2) 名誉会員	5,000	15,000	15,000
(3) 学生会員	17,500	47,500	27,500
(4) 賛助会員	120,000	120,000	120,000
2. 雑誌売上収入	180,000	208,000	210,000
3. 広告料	90,000	60,000	120,000
4. 掲載料	227,000	0	50,000
5. 年会等関係収入	670,000	956,643	1,413,000
(1) 年会収入	270,000	336,700	363,000
(2) チュートリアル収入	100,000	170,943	600,000
(3) フロントアセミナー収入	300,000	449,000	450,000
6. 雑収入(著作権料・利息等)	72,000	102,066	74,000
当期収入合計	3,341,500	3,534,209	3,889,500
前期繰越金	7,163,783	7,163,783	6,293,243
収入合計	10,505,283	10,697,992	10,182,743

・1. 会費収入 …… 個人会員の会費納入率を過去3年間の実績に基づき93%として以下のように算出

正会員 …… 372名(400名×0.93)×5,000円=1,860,000円

名誉会員 …… 6名(原則会費無料。発送希望者6名分)×2,500円=15,000円

学生会員 …… 11名(12名×0.93)×2,500円=27,500円

賛助会員 …… 6件×20,000円=120,000円

・2. 雑誌売上収入 …… Vol.51の35部×6,000円=210,000円

・3. 広告料 …… 4号分(Vol.50, No.2&3; Vol.51, No.1, No.2, No.3)を発行予定として120,000円で算出

・4. 掲載料 …… 投稿規定変更に伴い例年よりも減額し、5,0000円で算出

・5. 年会等関係収入

年会収入 …… 2021年度(オンライン開催)の実績に基づき算出

チュートリアル収入 …… 2021年度(オンライン開催)の実績に基づき算出

フロントアセミナー収入 …… 2021年度(オンライン開催)の実績に基づき算出

・6. 雑収入 …… 過去3年間の平均に基づき(62,289+58,228+102,066)/3=74,194円で算出

2. 支出の部

勘定科目	2021年度予算	2021年度実績	2022年度予算
1. 機関誌関係費	1,607,000	922,093	2,170,000
(1) 印刷費	1,200,000	671,000	1,750,000
(2) 校正費	180,000	159,600	240,000
(3) 通信・発送費	227,000	91,493	180,000
2. 年会等関係費	530,000	832,400	1,250,000
(1) 年会支出	280,000	465,197	400,000
(2) チュートリアル支出	0	21,288	450,000
(3) フロントアセミナー支出	250,000	345,915	400,000
3. 管理費	1,140,000	1,210,261	1,050,000
(1) 事務委託費	750,000	750,000	750,000
(2) 消耗品費	110,000	66,515	110,000
(3) 会議費	40,000	0	40,000
(4) 雑費	80,000	181,204	120,000
(5) 事務合理化費	10,000	20,900	10,000
(6) 選挙費	150,000	191,642	20,000
4. 役員旅費補助	50,000	1,180	50,000
5. 関連学会協調事業費	120,000	70,000	120,000
(1) 統計関連学会連合年会費	20,000	20,000	20,000
(2) 横幹連合年会費	50,000	50,000	50,000
(3) 連合大会企画セッション支出	50,000	0	50,000
6. 学会賞	50,000	85,959	80,000
7. 謝金	0	40,000	40,000
8. 「学会ホームページ」改修費	1,000,000	990,000	1,400,000
小計	4,497,000	4,151,893	6,160,000
9. 予備費	6,008,283	6,546,099	4,022,743
当期支出合計	10,505,283	10,697,992	10,182,743

- ・1. 機関誌関係費 …… 4号分 (Vol.50, No.2&3; Vol.51, No.1, No.2, No.3)として以下のように算出
 - (1) 印刷費 …… 過去の実績に基づき印刷費1,500,000円, フォーラム論文の費用100,000円と電子ジャーナル作成料150,000円で見積もり
 - (2) 校正費 …… 4号分 (Vol.50, No.2&3; Vol.51, No.1, No.2, No.3)で240,000円
 - (3) 通信・発送費 …… 過去3年間の平均(174,223+270,160+91,493)/3=178,625円で算出
- ・2. 年会等関係費 …… フロントアセミナー1回, および広報費として
 - 年会支出 …… 外部委託費(276,169円)に会場利用料などの諸経費を加算して算出
 - チュートリアル支出 …… 2021年度(オンライン開催)の実績に会場利用料などの諸経費を加算して算出
 - フロントアセミナー支出 …… 2021年度(オンライン開催)の実績に会場利用料などの諸経費を加算して算出
 - 広報費 …… 過去3年間(広報費の項目は4年前から)の実績に基づき0円で算出
- ・3. 管理費 …… 過去3年間の平均に基づき算出
 - 選挙費は前回選挙があった2020年度実績に基づき算出
- ・4. 役員旅費補助 …… コロナ過の状況を踏まえ通常の予算100,000円の半額で算出
- ・5. 関連学会協調事業費 …… 統計関連学会連合年会費20,000円, 横断型基幹科学技術研究団体連合年会費50,000円と, 連合大会の企画セッションの予算50,000円で算出
- ・6. 学会賞 …… 優秀論文賞(30,000円), 奨励論文賞(10,000円), 名誉会員証, 賞状, 証書フォルダ等
- ・7. 謝金 …… フロントアセミナー講演者への謝金
- ・8. 「学会ホームページ」改修費 …… 外部委託業者の見積りに基づき算出

V. 学会賞の報告

第1次選考，第2次選考の結果，以下の論文が選出された.

優秀論文賞：

受賞者辞退のため該当者なし

奨励論文賞：

Vol. 50, No. 1, 1-20. (2021)

「クラスタワイズ多変量カーネルリッジ回帰分析法とその応用」

川上裕大（共著者：黒木 学）

VI. 名誉会員の推挙

鎌倉 稔成 氏

推薦理由：

鎌倉稔成氏は、応用統計学会役職として、2004-2005 年度に監事、2006-2007 年度に副会長、2008-2009 年度に会長、2010-2011 年度に無任所理事、2012-2013 年度に監事、そして 2018-2019 年度にも監事を務められ、本学会の発展に尽力された。鎌倉氏は、1980 年に文部省統計数理研究所研究員、1985 年から中央大学に勤務され、優れた研究を積み上げられるとともに、多くの研究者を育成してこられた。鎌倉氏は、生存時間分析における統計解析法の研究、センシングデータの統計解析の研究、屋内における人の位置推定に関する研究、スポーツのデータ解析、空間データと災害の統計モデルの研究を中心に、理論面と応用面の両面にわたり様々な統計学の研究に従事してこられ、数多くの論文を発表された。応用統計の啓蒙にも尽くしてこられた。

これらの業績は特筆すべきものであり、応用統計学会名誉会員に就任いただく十分な理由があると判断できるため、ここに推薦する次第である。

VII. 会長・副会長・評議員選挙結果報告

投票締切日：2022 年 3 月 23 日

開票日：2022 年 3 月 25 日

1. 2022-2023 年度の会長・副会長選挙結果

会長	瀬尾 隆
副会長	渡辺 美智子

2. 評議員選挙結果（28 名）

地区代表評議員

北日本・北関東	水田 正弘,	姜 興起
南関東	田畑 耕治,	松浦 正明
東海近畿	青木 敏,	姫野 哲人
西日本	西井 龍映,	森 裕一

それ以外の評議員

岩崎 学,	椿 広計,	南 美穂子,	山本 紘司
安藤 宗司,	栗木 哲,	永田 靖,	富澤 貞男
星野 崇宏,	小泉 和之,	椿 美智子,	中西 寛子
二宮 嘉行,	會田 雅人,	川崎 玉恵,	北川 源四郎
黒木 学,	西山 貴弘,	樋口 知之,	前園 宜彦

以上

VIII. 新理事の選出（2022-2023 年度）

役職	氏名	所属
会長	瀬尾 隆	東京理科大学
副会長	渡辺 美智子	立正大学
庶務（会議・文書・総会）理事	川崎 玉恵	青山学院大学
庶務（情報・広報）理事	田畑 耕治	東京理科大学
庶務（組織管理）理事	小泉 和之	順天堂大学
会計理事	八木 文香	東京理科大学
編集理事	南 美穂子	慶應義塾大学
編集理事	星野 崇宏	慶應義塾大学
企画理事	山本 紘司	横浜市立大学
企画理事	西山 貴弘	専修大学
無任所	富澤 貞男	明星大学
無任所	椿 広計	統計数理研究所
無任所	永田 靖	早稲田大学
無任所	中西 寛子	統計数理研究所
無任所	菅 由紀子	株式会社 Rejou

以上

IX. 新監事の選出（2022-2023 年度）

監事	松浦 正明	帝京大学
監事	水田 正弘	統計数理研究所

以上